

単元名 ゴムゴムパワー(工作)
配当時間 6時間

- 単元の目標** (1) ゴムの動きに合う形や色を見付け、身近な材料を組み合わせて、つくり方を工夫して表現することができる。
- (2) ゴムの動きから、トコトコと動いたり、下から上にスルスル上がったたりするものを思い付き、空き箱や空き容器などを組み合わせて、どのようにつくるか考えるとともに、自分の意図や目的を話したり、友達の話の聞いたりしながら、作品の面白さやよさを見付けることができる。
- (3) ゴムで動く仕組みを基に、工作して表すことを楽しもうとする。

標準的な展開例

03080203_001

【準備等】 参考作品，材料（空き箱，空き容器，輪ゴム（折径6 cm ～ 14cm 程度），たこ糸，ゼムクリップ，色画用紙，化学接着剤，カラービニールテープ，包装紙，はさみ，カッターナイフ，カッターマット，のり，セロハンテープ，カラーフエルトペン，アイデアスケッチの用紙など

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 ゴムを使った単純なつくりのおもちゃで遊び，学習課題をつかむ。</p> <p>○ 仕組みを使って遊ぶ。</p> <p>★ ゴムの動きを生かした面白いおもちゃをつくろう</p> <p>○ 参考作品を使って遊び，楽しさを感じ取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 動かし方 ・ 材料 <p>○ 持ち寄った材料の形や色などを確かめて，つくりたいものをイメージする。</p> <p>○ 動きを生かした色や形を考えて，スケッチをする。</p> <p>○ おもちゃに名前を付ける。</p> <p>2～5 仕組みを生かしておもちゃをつくる。</p> <p>○ つくりたいものに合わせて材料を選ぶ。</p> <p>○ 材料を組み合わせて，試しながらつくりたい形になるように工夫する。</p> <p>6 できたおもちゃを交換し合って遊ぶ。</p> <p>○ つくったおもちゃで友達と楽しく遊ぶ。</p> <p>○ おもちゃのよさや面白さをみんなで話し合い，発表する</p>	<p>・ 教科書 3・4 上 P. 44, 45</p> <p>・ 事前に動きのもととなる，単純なおもちゃを用意して，児童に自由に遊ばせる。</p> <p>・ 遊びを通して，ゴムの動きや動く仕組みをつかませる。</p> <p>【評】 ゴムで動く仕組みを基に，主体的に楽しもうとする活動を通して，「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・ 参考作品を提示し，その遊び方を実演して，興味をもたせるようにする。</p> <p>・ 集めた材料の形や色・質感・大きさなどを確かめさせてつくりたいものを思い付かせる。</p> <p>【評】 材料の特徴や配色を工夫し，どのようにつくるのか考える活動を通して，「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・ 色鉛筆で簡単に彩色させる。</p> <p>・ おもちゃに名前を付けることで，イメージをさらに具体化させる。</p> <p>・ おもちゃの動きや作品のイメージに合わせて材料を選ばせ，つくりながらさらにイメージを膨らませる。</p> <p>【評】 ゴムの動きに合う形や色を見付け，工夫してつくる活動を通して，「知識・技能」を評価する。</p> <p>・ 友達と遊ぶ中で，工夫やよさを感じ取らせる</p> <p>【評】 友達と関わりながら，動き方を比べたりどのような工夫があるのか，楽しんで見つけようとする様子を通して，「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・ お互いの作品のよいところを認め合えるように鑑賞をする。</p> <p>【評】 自分の作品や友達の作品が動く様子を見ながら，そのよさや面白さを見付ける活動を通して，「思考・判断・表現」を評価する。</p>

【 備 考 】

他教科等との関連
理科 A (2) 「風とゴムの力の働き」との関連が深い。理科で学んだゴムの力を知識として活用し，発想を広げることができる。